



＊ ＊ 去る 10 月に開催された、今年度の文化祭、ブックフェア、漢字検定は、滞りなく無事終了いたしました。各委員会のみなさま、ボランティアの保護者のみなさま、大変お疲れ様でした！本会報はこれらの活動報告の特集です。 ＊ ＊

第 15 回文化祭報告

文化祭実行委員長 仲井 信二



今年も 420 名という多くの子どもたちが文化祭に参加してくれました。これだけの人数にもかかわらず、事故もなく無事に終了できましたことは、多くの

当日ヘルパー、PTA および学校関係者の皆様の多大なるサポートのおかげであると感じています。

おかげさまで子ども達が安心して文化祭に参加でき、その楽しそうな笑顔を見て我々実行委員としても大変嬉しく思いました。

毎年感じるのですが、このボストン日本語学校の文化祭は日本の文化に直接触れることができる唯一の催し物であることです。アメリカで生活している子ども達が、実際に古くからある伝統的な遊びを体験し熱中できる大切な時間だと思っています。そしてこの事は親である私たちにとって、大きな喜びと懐かしさを与えてくれます。

年々、子どもヘルパーとして参加してくれる生徒が増えてきていることは、ただ遊ぶだけでなく作る側として自分自身が手伝えることで成功体験として記憶に残り、子ども達の成長に少しでも文化祭が役に立ってくれればと願います。ティーンズコーナーの中学生たちは、実行委員と同じ 5 月の段階から準備が始まります。なかなか企

画が決まらず、みんなで考え相談し考え抜いて作り上げた宝探し（問題作り）、フェイスペイント（ペイントの練習）、空きカン釣り（釣り竿や空き缶の装飾）、折り紙（お手本づくりを含む）を大成功させた経験は将来、思い出としていつまでも残ることでしょう。

近年はヴァーチャルリアリティの技術の進歩により、子ども達の遊び方が大きく変化してきています。体を使って遊ぶことが減ってきている子ども達にはけん玉、メンコ、スーパーボールすくい、福笑いなどの遊びはかえって新鮮なのかもしれません。習字や着付けに関して言えば、今や日本のお正月にすら体験することが無くなりつつあります。そのためにもこの文化祭を続けていかなければと強く感じています。

そこで、保護者の皆様をお願いします。今年の文化祭まで長い間実行委員として活躍されてきた保護者が何名かお辞めになる予定です、来年も文化祭を続けていくためには新しい実行委員としてお手伝いいただける保護者の方を募集しております。もしも実行委員の人数が不足するようであれば、文化祭の縮小もしくは中止という事態になりかねません。皆様のご協力をお願い申し上げます。



各ブースからの感想（順不同）

〈けん玉〉

大場 強

今年の文化祭は室内イベントと言えども悪天候だったため出足が気になりましたが、けん玉コーナーでは 2 時間長い行列が途切れることなく大盛況の運びとなりました。スマホなどゲーム世代に育つ現在の子ども達がこんな原始的なけん玉に目を輝かせながら真剣に遊ぶ姿を



見て安堵の感を持ちながら、何だか嬉しいやら、気付いたら凄い行列。交代の時間が来てもなかなか離れたがらない子ども達の姿。熱心に指導するが故に後ろの行列を忘れてしまう献身的な保護者ヘルパーの方々の姿。とても印象的でした。皆様のご協力のもとで無事に終える事ができました。本当にありがとうございました。

<めんこ>

アンガー 裕子

今年もめんこブースにはたくさんのお子さんの参加がありました。めんこという私たちがさえ馴染みのない昭和の日本の遊びに目を輝かせて挑戦し、楽しいひと時を過ごしてもらえたと思います。ヘルパーさんたちは、それぞれが自分たちなりに気を利かせて甲斐甲斐しく参加者のお世話をしていただき、とても頼もしく感心させられました。めんこに詳しい保護者の方から詳しく投げ方などを教えていただき、来年からはこのノウハウを大切に伝授し、参加者にさらに楽しんでもらうつもりです。多くのヘルパーさん、また参加者のみなさん、来年も楽しみにして下さい。

<福笑い>

ロウビ 真紀



今年もたくさん子ども達が福笑いに挑戦してくれました。上手にできても、おかしい顔になっても、楽しそうに参加している子ども達の笑顔を見て、普段体験できない日本のゲームが楽しめる文化祭があることを、改めて嬉しく思いました。一生懸命協力してくれた小・中学生ヘルパーと保護者の皆様、本当にありがとうございました。来年もたくさんのご参加お待ちしております。

<習字>

喜多 麗子

今年度の習字も例年同様、沢山の人に参加して貰えました。筆を持つのが初めてで、緊張しながら丁寧に筆を運ぶ人もいれば、日本で授業を受けていたので慣れてる

人、絵を描くみたいに元気で大胆な人、など様々でしたが、共通してみんな笑顔で楽しんでいたと思います。



そして、ボランティアに来ていただいたみなさま、どうもありがとうございました。日頃なかなか接点のない年の違う生徒等、色んな人と話すことになったと思います。とても良い経験ができる素晴らしい機会だと思いました。来年もぜひ、よろしくお願いします。

<着付け>

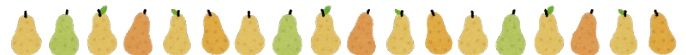
リンク 利恵

毎年来てくれる子、今年が初めてだった子、今年も100人ほど着付けコーナーに来てくれ大成功に終わりました。今年新しいモダンな浴衣も7枚増え、新しい浴衣を着て喜ぶ常連の子ども達もいました。浴衣と帯を選び、浴衣を着た子ども達の嬉しそうな顔を見ると、こうして日本の文化を伝える場を提供できる事がどんなに素晴らしい事が改めて感じました。皆様のご理解とご協力のお陰で、浴衣や帯にフェイスペイントやタトゥーがつく事なく無事に終わる事ができました。また、文化祭当日にお手伝い頂いたヘルパー、子どもヘルパーの皆様、ありがとうございました。

<スーパーボール>

フォーデュロン 敏子

今年も例年同様、400人近い子どもたちがスーパーボールに参加してくれました。大きなトラブルもなく無事に終わられてホッとしています。毎年の事ですが、ワクワクしながら自分の順番が来るのを今か今かと待っている子どもたちを見て、私たちもとても嬉しくやりがいを感じています。お手伝い頂いた中高生、及び保護者の皆さま本当にありがとうございました。来年もたくさんの方々のご参加をお待ちしております。





＜ティーンズコーナー＞

◆ 今年は僕にとって、文化祭の企画に携わる最初で最後の年でした。企画を通してこれで最後だということが非常に悔やまれる程、たくさんの事を学ぶことができました。仲間に指示を出し、それぞれの役割を決め、方針を調整する事がどんなに難しく、そしてどんなにやり甲斐があるかをこの身で実感しました。また、遊ぶ側ではなく、作る側に立つことの緊張感はある意味遊ぶ側にいるよりも痺れるものを感じられました。このボストン日本語学校に文化祭がある限り、娯楽の為のみならず社会学習のためにもティーンズコーナーはあり続けて欲しいと僕は思います。 (中1-1 平野 太一)

◆ 私はフェイスペインティングと宝探しの当日の手伝いをしました。準備段階ではあまり関わりませんでしたが、各自、暗号やポスターの作成、モチーフの練習等みんな自分達でやっていてとてもすごいと思いました。チャットでも文化祭について話し合っていたけど、最終的には必ずパズドラの話になっていたのが笑えました。こんな風に自分達も楽しみながらお客さんにも楽しんでもらえる文化祭を続けていきたいです。次回は自分も企画から関わりたいと思います。 (中1-2 川上 晴玲)

◆ 私達中学二年生の一組は、折り紙を企画しました。昨年に比べて少し参加者数は減りましたが、みんなの気合は変わらず頑張っていました。私達は、折り方が分からない参加者に分かりやすく説明をしました。折り紙は最初から最後まで人気で、終わる時間になっても多くの



人々が残っていました。子ども達だけでなく保護者も首を傾げながら折っている姿を見て面白かったです。選んだ折り方は低学年向けのものだけでなく、どんな年の方にも楽しんで頂ける難しさの物もそろえました。その甲斐があって、生徒だけでなく親子で笑いながら折っている姿を見てとても嬉しかったです。そして、来てくれた皆さんを手伝えてと

ても楽しく素晴らしい思い出ができました。

(中2-1 五十嵐 玲奈)

◆ 今年の文化祭で中学二年生が担当した企画の一つは「空き缶釣り」でした。ティーンズコーナーに参加するのは二年目なので去年よりも増して、皆の息があっていて、楽しく行うことができました。印象に残ったのは、景品をもらいにきて、「僕、3個も釣れたよ!」とうれしそうに教えてくれた子がいたことです。ある女の子は、「ねえ、今日一番いっぱい釣れた缶の数は?」と聞いてきました。「空き缶釣り」を楽しんでくれた子がいっぱいいて、とても嬉しかったです。来年も皆に楽しんでもらえるような企画を同級生とやれたらと思います。

(中2-2 河辺 芽依)

ブックフェア報告

図書委員長

吉田 尚子

ジャドソン アサコ

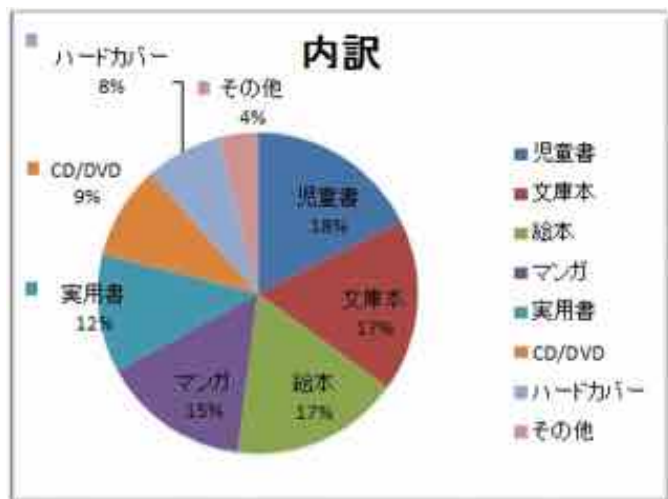


今年も恒例のブックフェアを、文化祭との同時開催ということで10月22日に開催いたしました。お忙しい中、多数の方々にご来場いただき、誠にありがとうございました。おかげさまで、今年のブックフェアは入場者数、販売冊数ともに昨年度を上回る結果となりました。多くの方々にご来場いただき、多くの本をご購入いただけて図書委員一同喜んでおります。売り上げ増の要因としては、ここ数年3学期に実施していた小規模なブックフェアを昨年度は実施しなかったため、人気のある本が今回のブックフェアまで残っていたことと、昨年同様に価格を一律に低く設定したことが考えられると思います。シリーズもののまとめ売りや、かるたやゲームなどのアイテムも引き続き人気がありました。

入場者数と販売冊数



購入いただいた本の内訳としては、児童書、文庫本、絵本がほぼ同じくらいの販売冊数となり、次いでマンガ、実用書、ハードカバーの順になりました。また、CD/DVDを一律10セントで販売しましたが、昨年と比較して5倍以上売り上げが伸びています。



今回のブックフェアの売り上げ、および通常時に図書館で販売している本の売り上げは、今後のPTA活動に役立つようPTAに納めさせていただきました。日本語学校の図書館およびブックフェアは皆様のご寄付で成り立っております。ご家庭で不要となった日本語の本や雑誌がありましたらいつでも図書館までお持ちください。よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、朝早くからの会場準備や開催中の販売、開催後の後片付け等にご協力いただいた図書委員やボランティアの方々をはじめ、ブックフェア開催に

際してご協力いただいたPTA役員の皆様、そしてブックフェアにて多数の本をご購入いただいた方々に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

漢字能力検定 実施報告

漢字検定委員長 田野 綾



2016年度の漢字検定は、去る10月29日(土)の午後に実施されました。

1学期中の申し込みが定着しつつありますが、今年も多くの申込みがあり、150名以上が受験されました。ポスト日本語学校のメインイベントの1つとして徐々に皆様に認識していただき、大変嬉しく思っております。検定当日にお手伝いに入ってくださいました皆様、本当にありがとうございました。

今年もご家族で受験された方が多く、低学年の児童から大人まで参加できる漢字検定の良さを再確認いたしました。今後も漢字検定が皆様の日本語学習のお力になれば幸いです。是非来年も多くの皆様の受験をお待ちしております。

今後の予定

12月(師走) December

- 10日 幼稚部なかよし発表会
- 17日 2学期最終日

1月(睦月) January

- 7日 3学期開始日
- 7日~30日 各学年文化的行事

2月(如月) February

- 4日 タレントショー

